

## 世界最大規模のオンライン教育プログラム ThinkQuest (シンククエスト) の活動

### 教育コンテンツの充実を目指した ウェブページ制作コンテスト

ThinkQuest は、1996年に米国で始まった、中高校生を対象としたウェブページ制作コンテストである。2~3名の生徒でチームを組み、半年~1年かけてウェブページ(英語)を制作する。作品は、世界中の生徒が学習に利用できる内容であることが条件だが、そのテーマは「科学・数学」「芸術・文学」「社会科学」「スポーツ・保健」「学際(複数部門にまたがるもの)」の5部門のいずれかに属すれば自由に決めることが可能である。

制作された作品は、その教育的価値、品質、インタラクティブ性、メンバー間の協力の度合い、作品の利用のされ方や将来性といった観点から評価される。主な賞は、部門賞3賞(プラチナ賞、金賞、銀賞)、ならびに、部門を越えて最も優秀な作品へ贈られる最優秀賞。賞金は、最優秀賞を受賞した生徒に贈られる25000ドルの奨学金(大学等の入学金・授業料に充当されることが受け取りの条件)を最高額として、総額100万ドルの奨学金・賞金が、生徒、生徒を指導したコーチ、生徒の所属する学校へ授与される。

ThinkQuestのねらいは大きく2つある。1つは中高校生のインターネット利用を促進すること、もう1つはインターネット上の教育コンテンツを充実させることである。すなわち、教育的価値があると認められる作品は全てインターネット上の教材ライブラリーへ加えられていく。また、コンテスト終了後も引き続き作品を更新・改良できるのもこのコンテストの特徴である。

日本におけるThinkQuestにかかわる活動は大きく2つある。第1はThinkQuestへの日本からの参加を支援・促進すること、第2は「ThinkQuest@JAPAN」の開催である。

### 世界から1万9000人が参加

ThinkQuest '99へは、世界76か国より6793人(2596チーム)、このうち日本からは65人(29チーム)が参加した。最終的に744チームが作品を提出し、約2か月間にわたってオンラインによる第1次、第2次審査が進められ、最終審査に進んだのはわずか26チームであった。その中には、日本からの2チームも含まれていた。

最終審査は、米国・ロサンゼルスにおいて、審査員の面前で行う作品のプレゼンテーションとその内容に基づく面接審査という形式で進められ、その結果、日本からの2チームは、科学・数学部門と社会科学部門において、それぞれ銀賞を受賞した。

ThinkQuestは、ここ数年のうちに参加地域、参加者数ともに増え続け、これまでに90か国1万9000人の生徒が参加している。このように短期間で世界最大規模のオンライン教育プログラムに急成長したことを受けて、これまで米国で開かれてきた最終審査・受賞イベントは隔年ごとに米国外で行うことが計画されており、その最初の年であるThinkQuest2000はエジプトで開かれることが決定している。



図1 ThinkQuest '99 社会科学部門銀賞受賞  
「Discovering China: The Middle Kingdom」  
日本、アメリカ、南アフリカの生徒による作品  
<http://library.thinkquest.org/26469/>



図2 ThinkQuestのウェブサイト  
<http://www.thinkquest.gr.jp>

### 日本独自のコンテストも開催 ThinkQuest@JAPAN '99

ThinkQuest@JAPANは、ThinkQuestが英語による作品制作ということから参加が難しかった日本の中高校生を主な対象とし、1998年よりスタートしている。また、「大学生・社会人の部」を設けて独自の展開も図っている。

第2回を迎えるThinkQuest@JAPAN '99へは、中学生・高校生の部に311人(118チーム)、大学生・社会人の部に147人(58チーム)の申し込みがあった。またこの中には、アメリカ、エジプト、オランダ、ニュージーランドからの参加者も含まれている(結果発表は2000年6月)。

ThinkQuestは、参加者の知的好奇心をかき立て、知の旅にいざなう。また、このプログラムを通じて、他人を尊重し協力しながら作業を進めていくことや、インターネットを活用する能力などが身に付けられるであろう。まさに、ThinkQuestは21世紀に必要な人材育成プログラムであり、今後より一層このプログラムが教育現場で活用されることを強く望むものである。

(小川布志香 ThinkQuest日本プログラム事務局/  
グローバルコムズ株式会社)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)